

## ▼メクトビ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ビニメチニブ Binimetinib 【分類】 抗悪性腫瘍剤 [MEK 阻害剤]

【単位】 ▼15mg/錠

【常用量】 1回 45mg, 1日2回 [エンコラフェニブと併用] ■適宜減量

【用法】 1日2回

【透析患者への投与方法】 常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 eGFR 29 以下でも AUC は 1.5 倍以内 (1)

【特徴】 MAPK 経路のシグナル伝達分子 (ERK) におけるキナーゼ阻害剤。BRAF 遺伝子変異を有する悪性黒色腫、進行・再発の結腸・直腸癌に適用される。

【主な副作用・毒性】 眼障害, 心機能障害, 肝機能障害, 高血圧, 消化器症状, 疲労感など

【安全性に関する情報】

【F】 50%以上が吸収 (1)

【tmax】 1.5hr (1)

【代謝】 主に UGT1A1 によるグルクロン酸抱合で代謝 (1) CYP1A2, 2C19 も一部関与 (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 6.5% [po, 360hr まで] (1) 尿中回収率 31.4% (1)

【CL/F】 28.2L/hr (1)

【t1/2】 単回 8.2hr, 反復 4.1hr (1)

【蛋白結合率】 97.2% (1)

【Vd/F】 384L/man (1)

【MW】 441.23

【透析性】 資料なし (1) 除去されないと思われる (1)

【O/W 係数】

【相互作用】 CYP2B6 を阻害 (1) P-gp 及び BCRP の基質 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20210728

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。